

山陽小野田市健康づくり推進協議会議事録

会議の種類	平成23年度第3回山陽小野田市健康づくり推進協議会		
日時	平成24年2月23日(木) 18:30~20:00		
場所	小野田保健センター		
出席者	厚狭郡医師会 山陽小野田市社会福祉協議会 小野田歯科医師会 厚狭歯科医師会 小野田薬剤師会 山陽小野田市ふるさとづくり協議会 山陽小野田市老人クラブ連合会 山陽小野田市連合女性会 山陽小野田市小・中学校PTA連合会 山陽小野田市母子保健推進協議会 山陽小野田市食生活改善推進協議会 山口宇部農業協同組合 山口県看護協会小野田支部 山口県栄養士会宇部小野田支部 山口県歯科衛生士会小野田支部 (出席者数 15人、欠席者数 3人)	河村 芳高 (会長) 小柳 朋治 (副会長) 多原 康成 (委員) 嶋田 修士 (委員) 阿部 陽子 (委員) 杉本 保喜 (委員) 平田 武 (委員) 岡部 つや子 (委員) 岡村 正則 (委員) 松尾 嘉子 (委員) 半矢 幸子 (委員) 笹木 伸子 (委員) 真鍋 美千代 (委員) 松岡 里絵 (委員) 村中 洋子 (委員)	
オブザーバ	山口県宇部健康福祉センター 厚東 邦明		
事務局	健康福祉部長 田所 栄 健康増進課技監 山根 愛子 健康増進課課長補佐 河野 静恵	健康増進課長 健康増進課課長補佐 成人保健係長	河合 久雄 深井 篤 岡村 敦子
会議次第	1. 会長あいさつ 2. 議事 (1) 平成24年度山陽野田市保健事業計画について (2) SOS健康づくり計画中間評価について (3) 山陽小野田市食育推進計画について (4) その他 3. その他		
事務局 1. 会長 あいさつ 2. 議事 事務局	SOSおきよう体操を参加者全員で行う。 市民の方に覚えて頂き、健康づくりの一助になればと思う。団体で行おうと言われる方は、CDを用意しているので、事務局まで知らせて欲しい。 24年度に向けての保健事業の計画について忌憚のない意見をお願いしたい。 (1) 平成24年度山陽小野田市保健事業計画について 資料(平成24年度保存版 すこやか山陽小野田)説明 平成24年度4月1日の自治会便で各戸配布を行う。委員のみなさんの意見を頂き、原稿をより良いものにしたい。		

	<p>表紙には SOS 健康づくり計画と中間評価に向けてのアンケート依頼を掲載し、SOS の知名度のアップに努める。</p> <p>現時点での変更点について説明。</p> <p>P 4 : MR 「※罹患された方は、単独での接種も可能です」を削除、インフルエンザ「10月1日から開始予定です」を削除</p> <p>P 5 : 山陽小野田市民病院の欄が空欄であるが、わかり次第記載、県立総合センター（女性のなやみ相談室 9 : 30～16 : 00）TEL0835-22-8803 に電話番号の位置を変更</p> <p>P 7 : いきいき健康づくり講座、「時間」を「開催日」に変更</p> <p>P 8 : 前立腺がん検診を H24 年度から新たに行う予定。対象年齢は 50～70 歳とし、近隣の宇部市と美祢市と同様にしている。自己負担は財政と協議し、保険の種類に関係なく一律 1000 円とした。</p> <p>P 9 : 「がん検診推進事業（無料クーポン券）について」を「無料クーポン券によるがん検診推進事業」に変更、クーポン券の対象者を新たに追加</p> <p>P 10 : 病院の名称の変更や前立腺がん検診、特定健診の医療機関については現在確認中のため、今後変更する。</p> <p>P 11 : SOS 健康フェスタについては 2 月 8 日の部会長会議において、日時と場所を決定し、場所の確保を行った。</p> <p>地域自殺対策緊急強化事業として 23 年度は講演会とサポーター養成講座を行った。来年度もこころのサポーター養成講座を行う。</p> <p>「山陽小野田市食育計画の内容」については、このページは、募集や開催のお知らせのため削除</p> <p>P 12 : 保健センターの案内に小野田保健センターの案内を追加</p>
会長	何か意見があればお願いしたい。表紙に SOS のシンボルマークを記載するのは、SOS が浸透していないので、良い機会ではないか。平成 24 年度は中間評価だが、何年で見直すのか。
事務局	10 年で見直しを行うため、5 年目で中間評価を行うことになる。
会長	マタニティスクールの参加者はどのくらいか。
事務局	実績は次回の会議で説明するが、一時期よりも減っている。
会長	工夫したことは何かあるか。
事務局	2 回目にお父さんに調理実習をしてもらっている。
会長	マタニティスクールを開催して何年になるのか。
事務局	長いですが、2 回目に父親の調理実習を入れ始めてからは 2 年目になる。
委員	去年より開催が減っているが、それはなぜか。
事務局	参加者数が減少し、費用対効果を考え、回数を少なくして人数を多くしようと考えている。
委員	出生は何人くらいか。
事務局	520～530 人前後。
会長	育児学級の利用者数はどうか。
事務局	第一子に案内のはがきを送付し、出席率も良い。WEB での申込みも出来るようになっている。
会長	相談はどうか。

事務局	来られる方はどこにでも顔を出している。
会長	相談しやすい環境を作ることが必要だ。 輪づくりは例年並みか。
事務局	例年並み。
会長	ミニ運動会は毎年開催しているのか。
事務局	はい。
会長	女性のなやみ相談室では不妊の相談を受けるのか。
事務局	更年期の相談も含めて女性の悩みの相談を受け付けている。
会長	健康体操の場所が3か所から1か所になったのはなぜか。
事務局	元気はつらつ健康体操として健康推進員に協力してもらい、自主グループへ移行している。まだまだ、支援のいる場所もあり、来年度は新たに1か所開催する予定にしている。
会長	みなさん体操をマスターしているのか。
事務局	参加者の中に覚えておられる方がいる。
委員	体操のCDを前回のチラシとセットにして渡せばよいのではないか。
事務局	現在、CDの作成に取り掛かろうとしており、4月までには作成したいと考えている。
会長	からだ動かそう会ではどんな体操をしているのか。
事務局	合併前からある自主グループで、はつらつやまぐち健康体操などを行っている。
会長	会がある毎に強制的にでもSOSおきよう体操をすると良い。体操をしないと広がらないので、気が付いたらしていただくくらいの感じで。今日体操から入ったアイデアは良い。
会長	健康推進員は検診の呼びかけは行っていないのか。
事務局	呼びかけを行ってもらっている。
委員	講座を受ければ健康推進員になれるのか。
事務局	はい。
会長	今年度何人くらい健康推進員になったのか。
事務局	地域によってバラつきはあるが、全体で40人程度。
委員	年齢層はどのくらいか。
事務局	60～70歳代が多い。
委員	お父さん、お母さんをターゲットに行うと、育友会の体育の役を引き受けても知識があれば違うので、講座を行う時間帯を昼間と夜の時間とで検討してみたらどうだろうか。
会長	介護者の集いは活発か。
事務局	参加者は多い。
委員	多いときは20人、少ない時でも15～16人は参加されている。
委員	介護している方はストレスを溜めている。デイサービスに行っても365日看ている。
委員	妻が認知症の母を看ていたが、同じ悩みを持つ人を話すと心が和んだと話していた。
委員	入口として介護者の集いがある。

委員 会長	みなさん知ってもらおうと利用する人も増えるのではないかと。 前立腺がんは肺がんに次いで多い。せつかく市が助成しようとしているので受けて欲しい。
委員 事務局	70歳で年齢を止めるのか。 PSAの値は年齢とともに高くなり、検診として考えたときに年齢を制限することとなった。また、高齢になると自覚症状も出るため、働く世代の自覚症状が出ていない方をターゲットに検診を行うこととなった。
会長	PSAの値が高い方は多いが、市内には泌尿器科が少なく、様子を見ながら年齢も考えていけたらよい。
事務局	市内の泌尿器科の医師とも相談して、この年齢になっている。
委員	こころのサポーター養成講座は何人の受講があったのか。
事務局	23年度は33名。
委員	何時間の講座なのか。
事務局	午前中の2日間。
委員	講師は誰なのか。
事務局	小野田心和園副院長によるうつ病の理解の講話と、自死遺族の方のお話、またそれを基に自分たちに何が出来るのかグループワークを行った。
委員	サポート実績はあるのか。
事務局	未だ無い。
委員	福祉員や民生委員には必須の対応になっているので、民生委員の研修の中に入れてらどうか。
委員	それぞれの社協で人を集め、これとこれを行って欲しいと要望すれば、必須の知識を得ることが出来る。 決められた時間に行くことは難しいので、民生委員が行う研修会の時に来て欲しい。 民生委員や福祉員になるのに、そんな知識もないのに出来ないと言われる。基礎教育につながるのではないかと。福祉員の質の向上も含めて社協が出来ないか。
事務局	民生委員の研修会でも声をかけ参加を求めた。また社協にも依頼し、福祉員の方にも参加を頂いた。
委員	テーマとしてはきつい。しかし直接接する事が多いため、知識として与えられている方がよい。自分で悩まずに、相談機関につなげる判断力がある。
会長	年間3万人以上の方が自殺で亡くられている。足がかりとして広めて欲しい。
委員	人権擁護委員を行っている。すごく深い内容、しっかり練って頂き、研修に伺いたい。
会長	全体を通してすこやか山陽小野田についてのご意見を頂きたい。
委員	P3の数字が人数かと思った。
委員	去年よりは見やすい。持参するものが1つの枠の中に入っていて分かり易い。
委員	広告A.Bについてはどこからなのか。広告は表紙なので健康に関するものであって欲しい。そうでなければ場所は変えられないのか。

事務局	自治会連合会からの広告が入る。
会長	オブザーバとして何かあるか。
オブザーバ	前立腺がん検診について宇部市は国保の方のみなので、検診の機会のない方に広げている事では頑張っていると思う。
委員	別件ですが、小野田保健センターの入口の方向が入り難い。道も狭いのに。曲がらないといけないため、入口の場所を変えてはどうか。
	(2) SOS 健康づくり計画中間評価について
事務局	資料 (SOS 健康づくり計画中間評価について (案)) 説明 5年目を迎え、中間評価を迎える年となる。評価指標に基づいてアンケートを実施する。5月の総会の後、1年をかけて実施する。11月にフェスタを開催し、指標③となるボランティア活動の感想の収集を行う。指標①～⑤は出納閉鎖後に実施し、指標⑥⑦は国保連からのデータが7月中旬以降に送付されるため、その後に行う。2月8日の部会長会議で提案を行った。
委員	指標⑦の国民健康保険医療費の推移であるが、加入者の割合は市民の1/4か1/5だと思うが、意義があるのか。
事務局	社会保険のデータがない。社保であれば、75歳以上の後期高齢者のデータが取れない。0歳から上の制限がないので、データとしては適当。
委員	若い人のデータがでない。
事務局	生産年齢層は社保が多いので若年層のデータとしては充分ではないが、市としては、国保のデータしか頼るものがない。
会長	男女800ぐらいとして統計学的に問題はないか。前回のアンケートとの比較はどうか。
事務局	本市の人口規模であれば1500が適当。前回のアンケートに回答したかを聞いて、アンケート比較できると考えている。
	(3) 山陽小野田市食育推進計画について
事務局	資料説明 年間100人の博士を養成する。日程は今後検討する。 ランチョンマットの予算は白紙になったため、今後検討していく。ネットワーク会議でも意見をもらっている。
委員	5年計画で1年が終わった。目で訴えるということで24年度ランチョンマットを計画した。予算が無くてもできる食育の推進を行っていきたい。食育に関しては、管理栄養士1人、臨時栄養士が2月で辞めると聞いているため、1本の柱しかない。支えになる職員を早急に手配して欲しい。
事務局	人事ヒアリングでも声を大にして採用を訴えた。3月1日付で募集をハローワークにかけている。
委員	食育博士100人を目標にしている。ふるって参加をして欲しい。
委員	エコわらじとは何か。
委員	ねたろうにひっかけて目で訴えるために作っている。台を拭いたり、物を置くことも出来、環境にも優しい。(実物を示す)
委員	11月18日の日にちは決定なのか。市民まつりの日程も決まっていないが。

事務局	市民館を押さえている。
委員	講師はいるのか。
事務局	予算がないので、手を変えて考えている。
委員	熊八先生はNHKで知られているため、参加の声をかけた。しかし参加者が少なく寂しかった。どこかと一緒に行ったりしてはどうか。子供が来れば親が来るので、もう少し工夫する必要がある。広く知らせるためには、子供が行ってみようかと思うようなものを加えることが必要と思う。
	(4) その他 (意見なし)
3. その他	
事務局	役員の任期が2年で来年度も継続するが、各所属団体の役員改選もあると思うため、変更があれば事務局まで連絡をお願いしたい。
事務局	田所部長より挨拶。 苦しい財政事情の中、予算確保も出来なかった。お金のないところは知恵を出し合って、健康づくり、食育に取り組んでいきたい。
	平成24年度第1回開催予定 日付 平成24年6月21日(木) 時間 18:00～ 場所 小野田保健センター